

第67期決算説明資料

(2019/4/1 ~ 2020/3/31)



タカノ株式会社

2020年5月28日

2020年3月期実績および 2021年3月期見込みについて

2020年3月期決算（連結） 実績の内容について

● 当社および連結子会社の概要について

会社名	沿革等	事業の内容
当社 タカノ株式会社	1953年7月 ばね製造会社として設立 平成9年東証上場	・ オフィス家具、ユニット（ばね）製品、エクステリア製品、 画像処理検査装置、電磁アクチュエータ、健康福祉関連機器 の製造販売
連結子会社 (株)ニッコー [機械・工具]	1968年3月 グループ内の工具機械等の仕入を する商社機能として設立	・ 工具、器具、機械、エクステリア製品の仕入販売
連結子会社 タカノ機械(株) [検査計測機器]	1979年9月 当社治工具・専用機の設計製造 部門を分離独立させ設立。	・ 省力化機械の製造販売 ・ 検査計測装置のメカ機械等の製作
連結子会社 台湾鷹野股份有限公司 [検査計測機器]	2005年2月 当社100%子会社として設立、 同年4月より営業を開始	・ 台湾におけるFPD向け画像処理検査装置のメンテナンス、ア フターサービス、販売活動
連結子会社 上海鷹野商貿有限公司 [住生活関連機器]	2010年2月 当社100%子会社として設立 2013年12月 資本金を50万米ドルに増資	・ オフィス家具他、各種製品の仕入販売 （当社各部門の中国市場向けの製品の販売活動等、中国から の部材仕入れ活動等を行う目的で設立）
連結子会社 香港鷹野国际有限公司 [産業機器]	2011年8月 当社100%子会社として設立(登記) 2012年4月（営業本格開始）	・ 産業機器（電磁アクチュエータ）製品、検査計測機器製品お よびそれぞれの製品にかかる部品等の仕入・販売（輸出入）
連結子会社 Takano of America Inc. [産業機器]	2019年8月 当社100%子会社として設立(登記) 2020年4月（営業本格開始）	・ 産業機器（電磁アクチュエータ）製品の仕入・販売

- 2020年3月期連結決算実績(対前期比)

	2020年3月 (百万円)	2019年3月 (百万円)	前年同期比 (%)
売上高	22,346	23,657	94.5%
営業利益	754	1,136	66.4%
経常利益	858	1,291	66.4%
親会社株主に帰属 する当期純利益	585	959	61.1%

- 2020年3月期連結決算実績(対予想比)

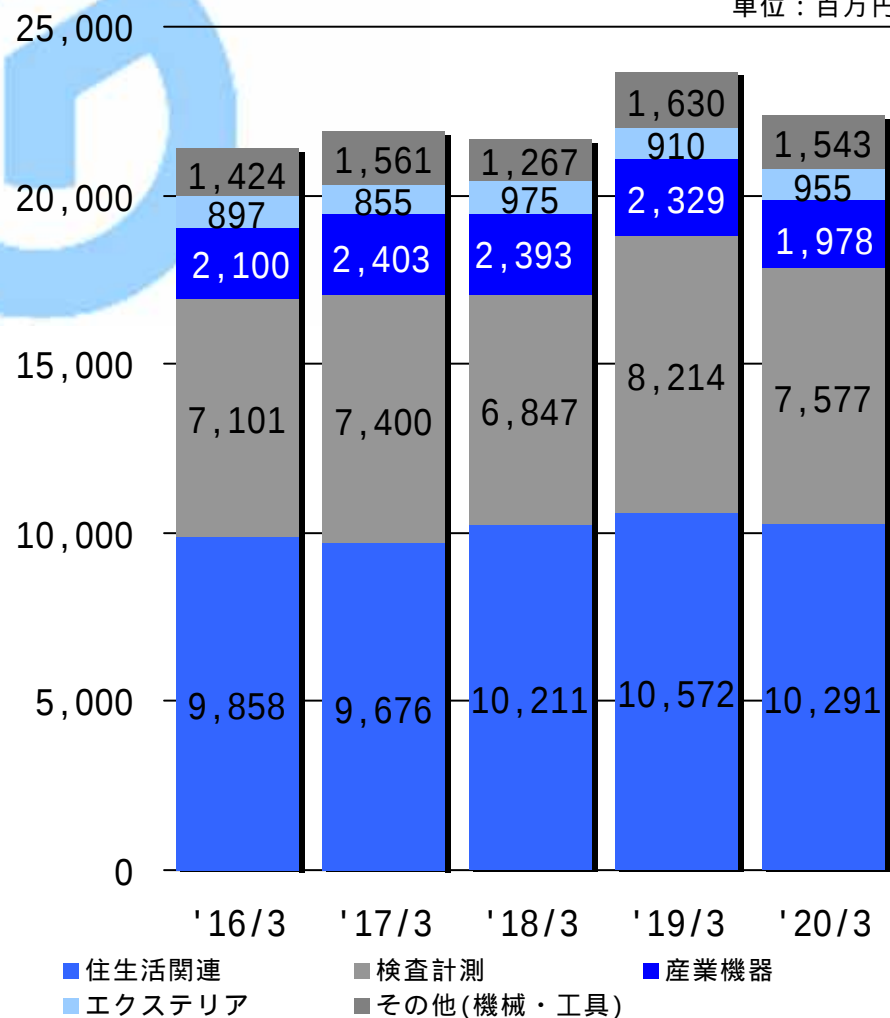
	2020年3月実績 (百万円)	2020年3月予想 (百万円)	予想比 (%)
売上高	22,346	24,800	90.1%
営業利益	754	1,090	69.2%
経常利益	858	1,130	75.9%
親会社株主に帰属 する当期純利益	585	830	70.6%

予想値は、2019年5月8日に開示しました業績予想値を採用しております。

●セグメント別売上高の推移

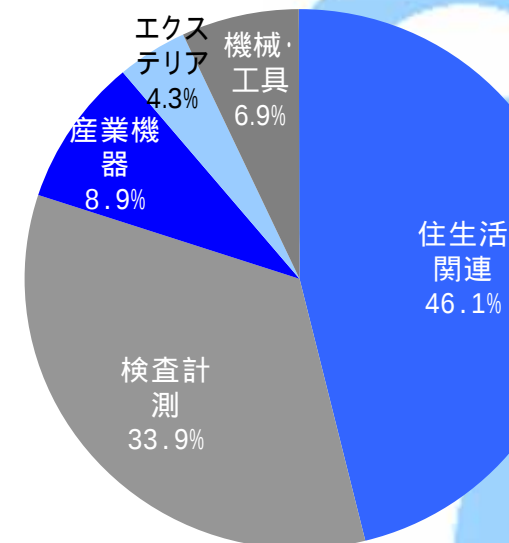
セグメント別売上高の推移

単位：百万円

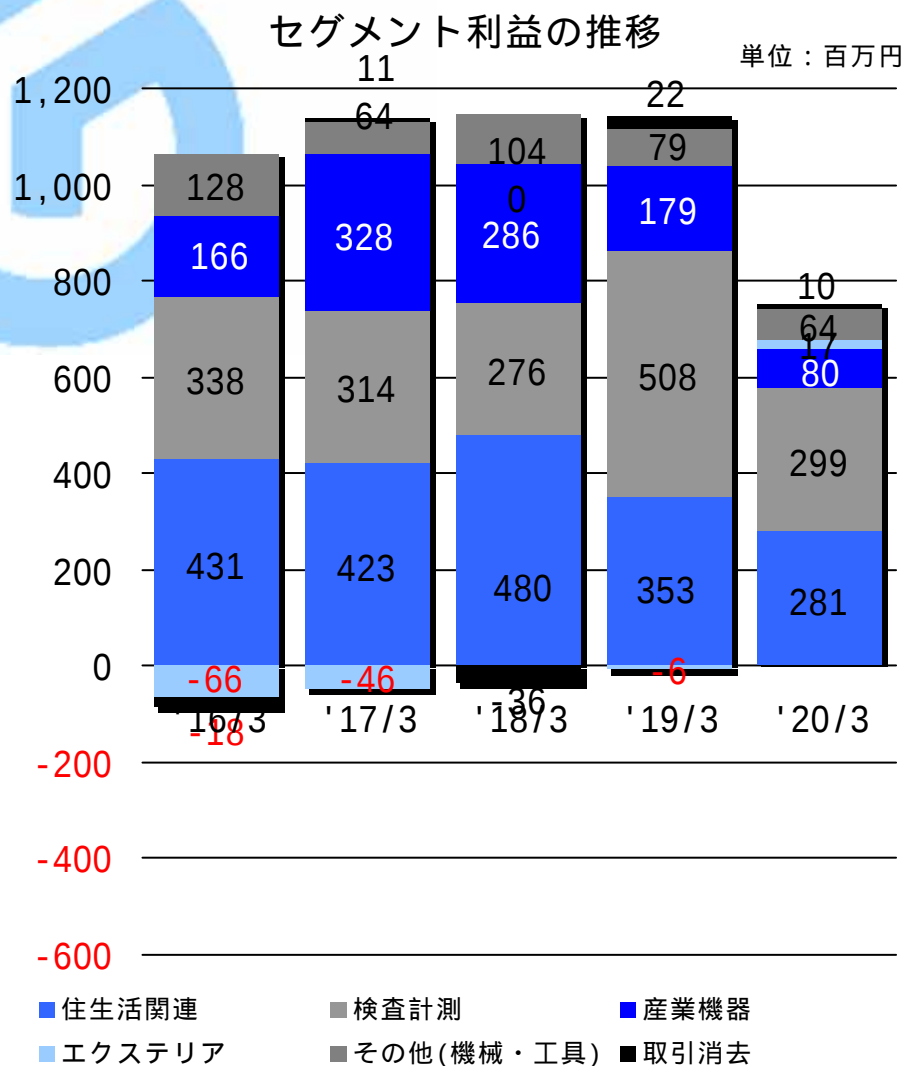


	2020/3 (百万円)	2019/3 (百万円)	前年 同期比
住生活関連	10,291	10,572	97.3%
検査計測	7,577	8,214	92.2%
産業機器	1,978	2,329	85.0%
エクステリア	955	910	104.9%
その他(機械・工具)	1,543	1,630	94.7%
合計	22,346	23,657	94.5%

2020/3連結売上高構成比

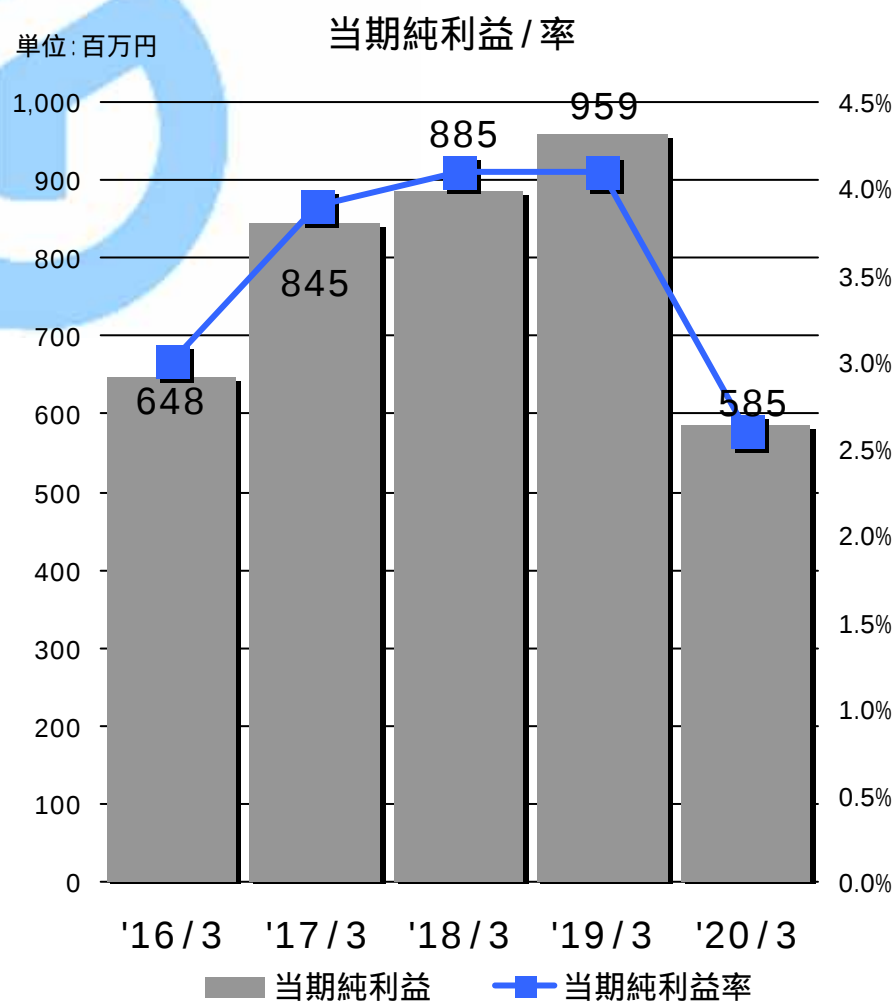


●セグメント利益の推移



	2020/3 (百万円)	2019/3 (百万円)	前年 同期比
住生活関連	281	353	79.5%
検査計測	299	508	59.0%
産業機器	80	179	44.7%
エクステリア	17	6	- %
その他(機械・工具)	64	79	80.8%
取引消去	10	22	- %
合計	754	1,136	66.4%

● 当期純利益の推移(連結)



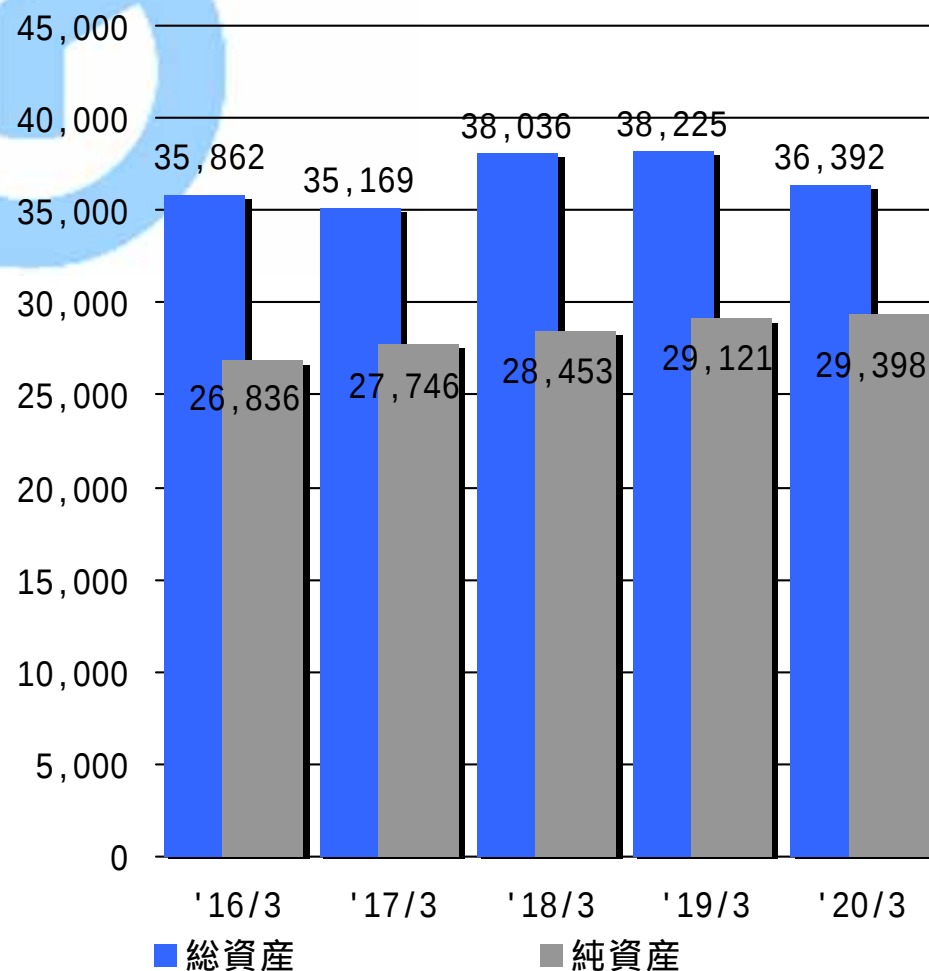
○ 2020年3月期の1株当たり純利益
38円56銭

会計基準の変更により、2016年3月期より、当期純損益の表示が「親会社株主に帰属する当期純利益」となっておりますが、便宜上2016年3月期以降は従前どおりの科目表示としております。

● 総資産・純資産の推移(連結)

総資産/純資産

単位：百万円



○ 2020年3月期の自己資本比率 80.8%

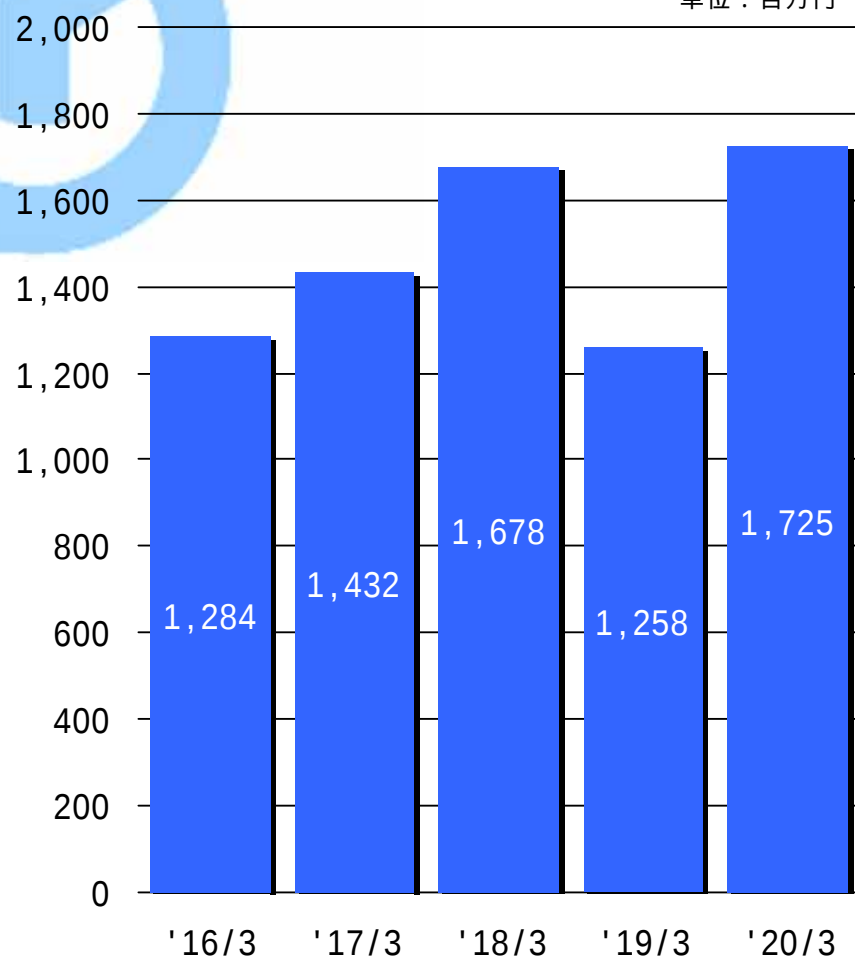
○ 2020年3月期の自己資本利益率 2.0%

○ 2020年3月期末の1株当たり純資産
1,934円62銭

● 主な設備投資内容・設備投資額推移

設備投資額推移

単位：百万円



設備投資額は有形＋無形固定資産の設備投資に係るものであります。

	2020/3 (百万円)	2019/3 (百万円)	前年 同期比
住生活関連	1,035	700	147.7%
検査計測	399	408	97.7%
産業機器	215	132	162.4%
エクステリア	71	19	362.1%
その他(機械・工具)	7	1	605.1%
調整額	3	4	- %
合計	1,725	1,258	137.1%

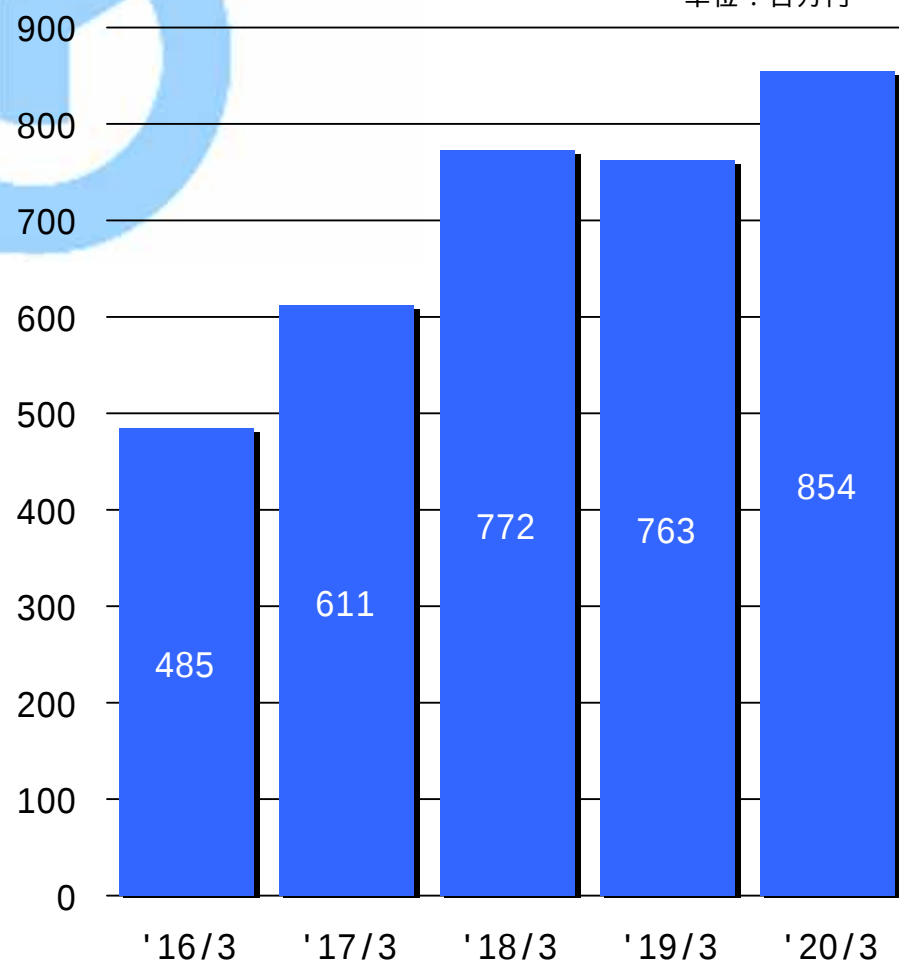
● 当期の主な設備投資の内容

- 住生活関連機器
 - ・工場建物改修工事
 - ・オフィス椅子工場ライン合理化投資
- 検査計測機器
 - ・半導体・フィルム検査装置デモ機製作
- その他
 - ・横浜技術開発センター建設
 - ・会計システム更新

● 主な研究開発内容・研究開発費推移

研究開発費推移

単位：百万円



	2020/3 (百万円)	2019/3 (百万円)	前年 同期比
住生活関連	108	106	102.0%
検査計測	667	590	113.1%
産業機器	0	0	- %
エクステリア	0	0	- %
基礎研究(区分不能)	78	66	116.7%
合計	854	763	111.8%

● 当期の主な研究開発の内容

- 住生活関連機器
 - ・ 新素材研究等
- 検査計測機器
 - ・ 高速・高分解能新型カメラおよび画像処理装置開発他
 - ・ 半導体向け高速新検査装置開発
- 新事業開発関係（基礎研究）
 - ・ 体外診断用医薬品および診断装置開発
 - ・ 医療関連機器開発

● 2020年3月期連結キャッシュフロー計算書

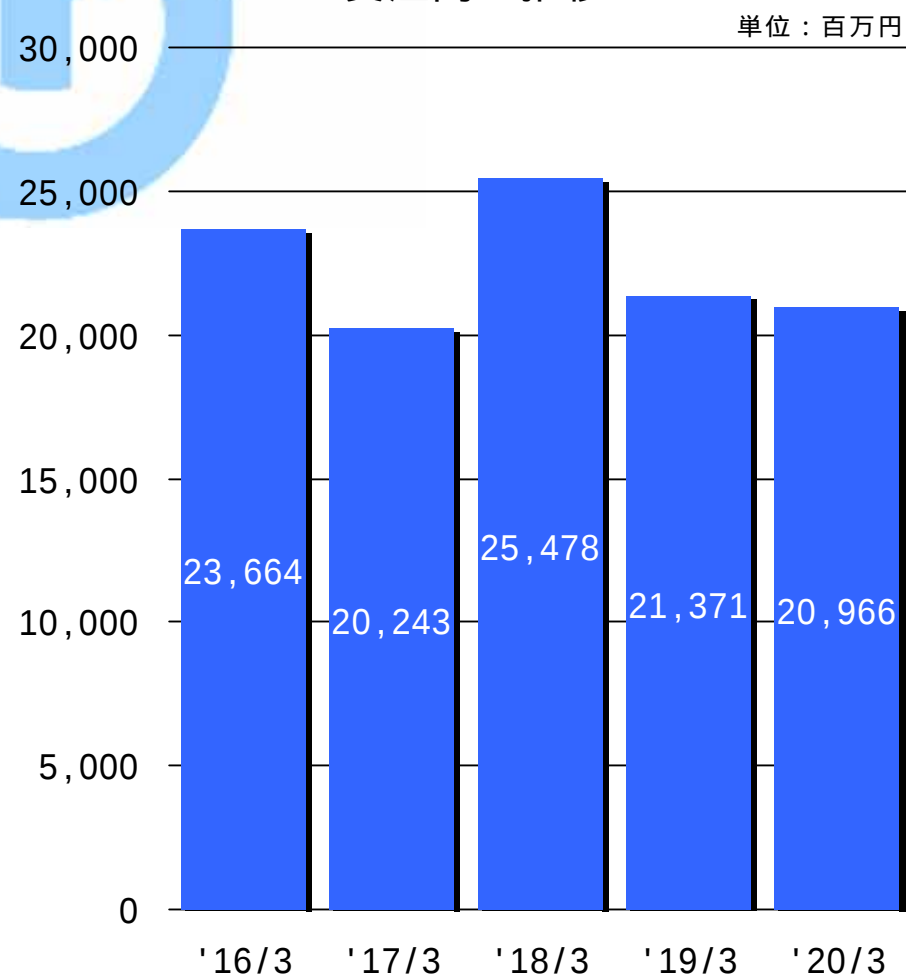
	2020年3月 (百万円)	2019年3月 (百万円)	前年比増減 (百万円)	備考
営業活動によるCF	724	1,149	424	
投資活動によるCF	1,779	2,357	578	
財務活動によるCF	424	390	33	
現金等換算差額	13	12	0	
現金等の増減額	1,492	1,611	119	
現金等期首残高	8,840	10,452	1,611	
現金等期末残高	7,348	8,840	1,492	

● 受注高・受注残高の状況

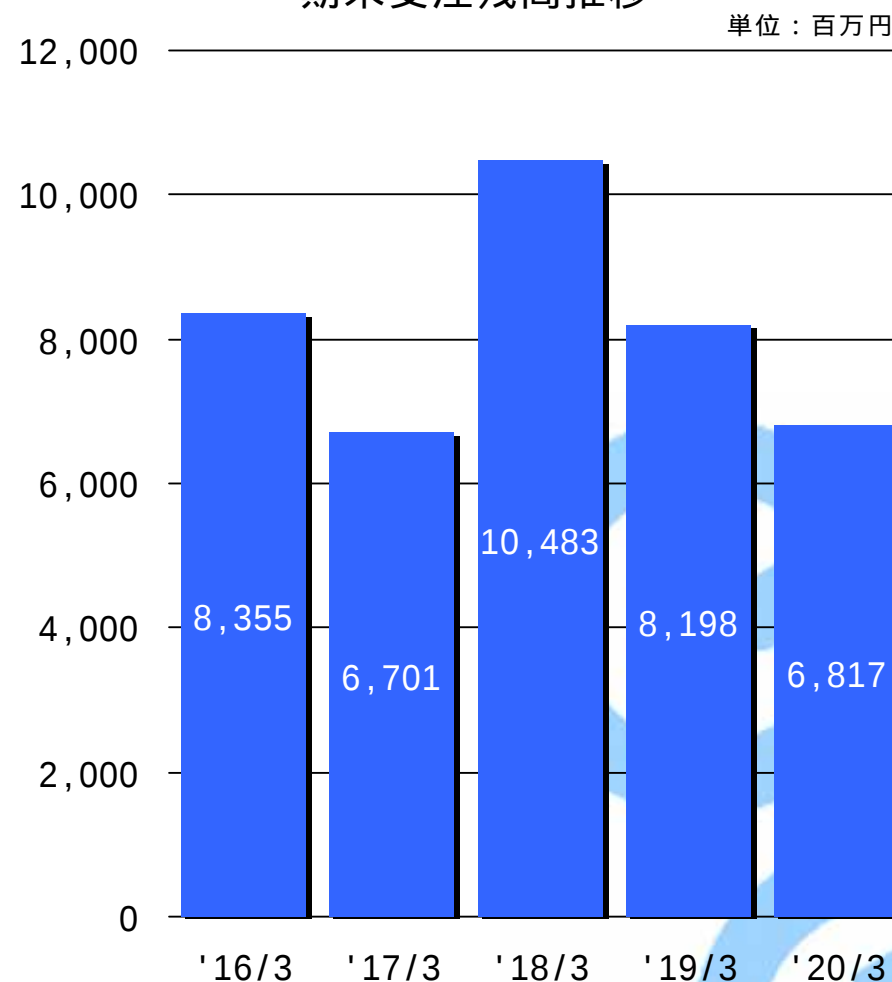
■ 検査計測機器事業の受注残高

2020年3月末 5,914百万円(前期末比17.0%減)

受注高の推移



期末受注残高推移

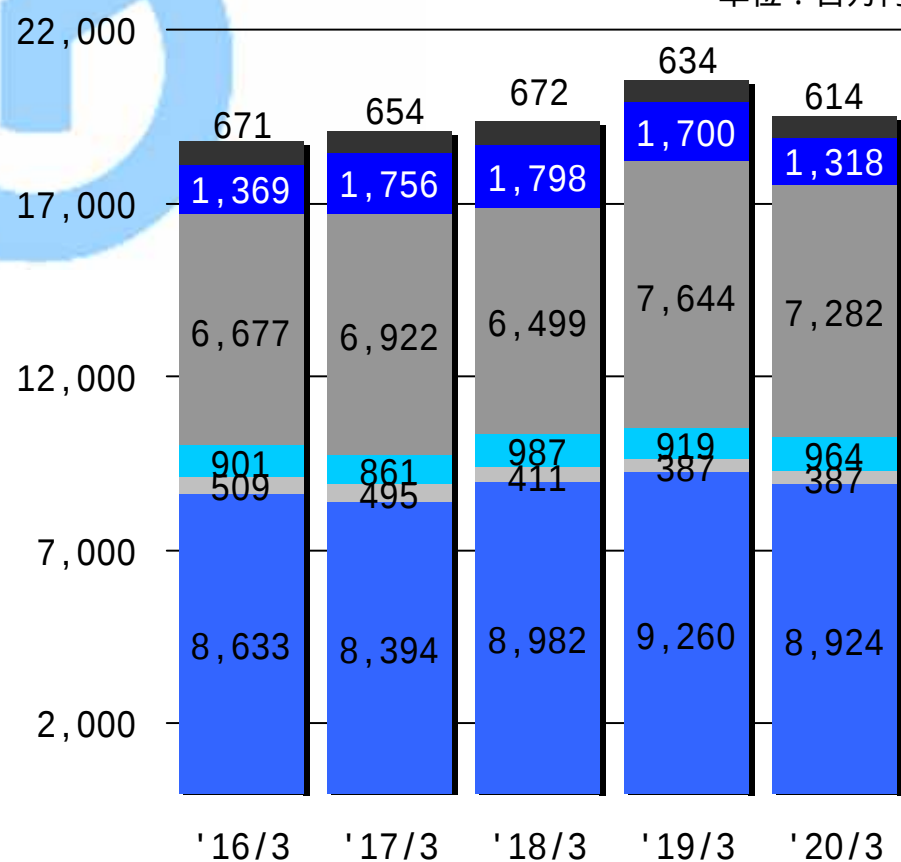


2020年3月期決算（単独）
部門別売上高実績の内容について

● 部門別売上高(単独)の推移

部門別売上高推移

単位：百万円

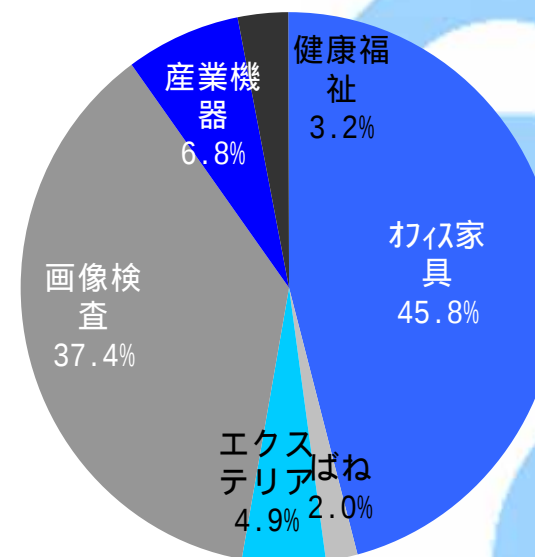


-3,000

■ オフィス家具 ■ ばね ■ エクステリア
 ■ 画像検査 ■ 産業機器 ■ 健康福祉

	2020/3 (百万円)	2019/3 (百万円)	前年 同期比
オフィス家具	8,924	9,260	96.4%
ばね	387	387	100.0%
エクステリア	964	919	104.9%
画像検査	7,282	7,644	95.3%
産業機器	1,318	1,700	77.5%
健康福祉	614	634	96.9%

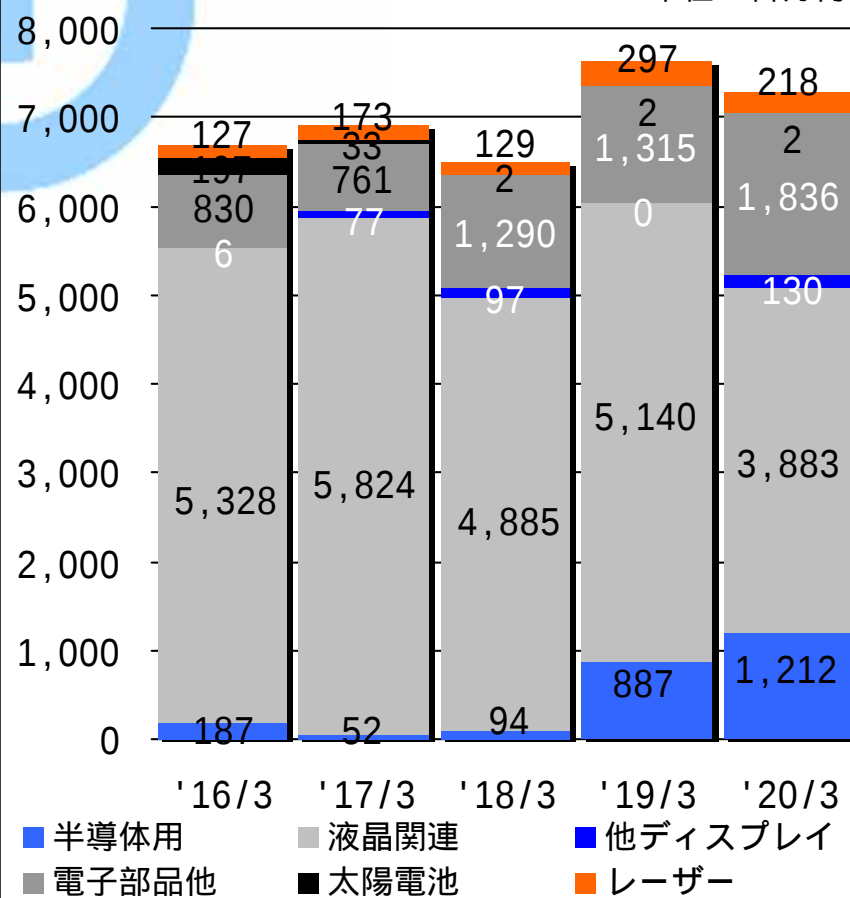
2020/3売上構成比



● 検査計測装置売上高の推移

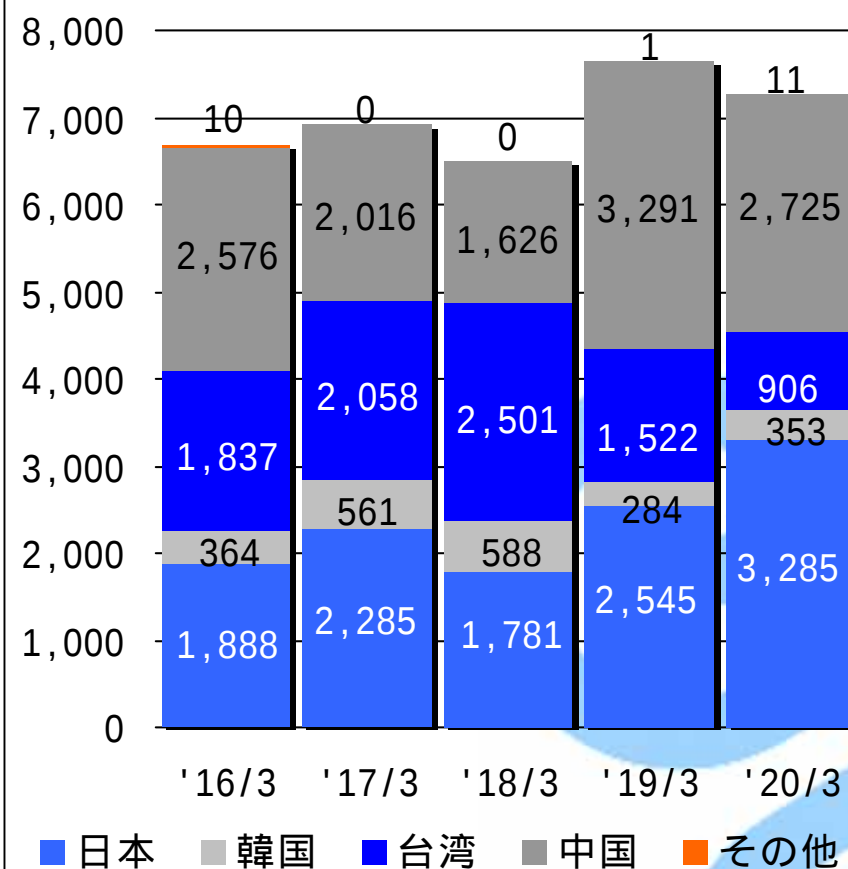
検査計測装置品目別売上高推移

単位：百万円



検査計測装置地域別売上高推移

単位：百万円



2021年3月期決算（連結）の見通しについて

- 2021年3月期決算（連結）見通し

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスによる影響を現段階において合理的に算定することが困難なことから未定とさせていただいております。業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに開示いたします。

この説明資料は、投資勧誘を目的にしたものではありません。投資に関する最終決定はみなさまご自身のご判断において行われるようお願いいたします。

当説明資料で掲載している情報のうち過去の歴史的事実以外のものは、一定の前提の下に作成した将来の見通しであり、また2020年5月11日現在で入手可能な情報に基づく当社の経営陣の判断に基づいております。

従って、将来に関する予想には様々な潜在的リスクや不確定要素が内在されており、実際の業績は種々の要素によりこれらの将来予想とは異なる場合があります。当社はこの資料を使用したことにより生じるいかなる損害についても責任を負うものではありません。

従いまして、この資料にある将来に関する予想に全面的に依存して投資等の判断を行うことはお差し控えてください。

